

当院における院内教育の現状

○神窪理沙子、吉田順子、柳田勝

大阪府・医療法人・聖志会 渡辺第二病院

I. はじめに：当院は平成16年にISO9001認証後、患者満足度向上を目標とした医療サービスの改善に重点をおいてきた。その中でも、職員の教育は、大きな割合を占めるもののひとつである。

今回、我々は、当院における最近1年の院内教育の現状を調査したので、若干の考察を加えて報告する。

II. 当院の教育研修内容

- ① 医療安全 ②院内感染防止 ③行動制限 ④人権 ⑤接遇 ⑥褥瘡 ⑦介護技術
- ⑧ 心電図 ⑨血液検査 ⑩薬の知識 ⑪画像診断 ⑫理学療法 ⑬認知症ケア全般
- ⑭栄養改善 ⑮医療保険制度

III. 実施方法：上記の内容は、約30～60分にまとめられ、外部講師もしくは、院内の職員によって実施された。頻度は、毎週、3回程度行われ、参加は、原則自由である。参加者は、個人の参加記録に記載し、また、研修ごとの参加数も記録している。

IV. 院内研修内容は、外来受付、もしくは病棟入り口に掲示し、実施結果を公表している。

V. 結果：最近一年は、各講義に30名を超える参加が続いている。また、「認知症ケア専門士」の一次試験合格者数が11名、昨年3回の学会での発表、患者満足度調査での高い「満足」の結果、極めて低い誤薬頻度など良好な教育効果が得られている。本年は、3名の職員の海外研修も実施され、「認定看護師」の希望者が出現している。

VI. 最後に：現在、院内教育の良好な結果が得られている。今後、患者ニーズや職員の希望も踏まえ教育内容を充実していくことが大切であると思われた。